

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成31年1月25日（金）

2 確認箇所

- ・ 3号機タービン建屋東側（海側）
- ・ Cタンクエリア

3 確認項目

- (1) 3号機タービン建屋東側逆洗弁ピットの覆工工事の進捗状況
- (2) Cタンクエリア堰内の補修状況

4 確認結果の概要

- (1) 3号機タービン建屋東側逆洗弁ピットの覆工工事の進捗状況

3号機タービン建屋東側に設置されている逆洗弁ピット内には、高線量のガレキ等が残置されていることから、放射線低減対策として当該ピットに生コンを打設した後、碎石を敷設し、さらにアスファルト舗装にする計画がある。今回、当該工事の進捗を確認した。

- ・ 当該ピットは、南北に6槽連結して設置されているが、南側から2槽目のピットまで生コンの打設が完了しており（写真1）、確認時（11時頃）は、3槽目のピット内に敷設されている配管内に打設する作業が行われていた。（写真2）



(写真1)
2槽目のピット内の様子



(写真2-1)
3槽目のピットの配管内に生コンを打設している様子①



(写真2-2)
3槽目のピットの配管内に生コンを打設している様子②

(2) Cタンクエリア堰内の補修状況

当該エリアには、ストロンチウム処理水が貯蔵されたフランジ型タンクが13基設置されているが、漏えいリスクの観点から当該タンクを解体し、新たに溶接型タンクを建設する計画がある。今回、当該工事の進捗を確認するため、現場確認した。

- ・確認時（10時半頃）、堰内には東京電力社員2名がおり、亀裂が確認されたタンク下部の床面への補修作業が行われていた。（写真3）
- ・東京電力によると、解体に向け、当該タンクの水抜きは完了したが、残水処理が今年9月頃までかかる見込みであり、その間、タンクを使用し続けることから、コーキング材で補修しているとのことであった。



(写真3-1)



(写真3-2)

写真3-1の赤枠を拡大したもの

5 プラント関連パラメータ等の確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。